（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ちくほくの『く』　ちくほくの暮らしを〝プレ体験〟
事業主体 （連絡先）	筑北村 東筑摩郡筑北村西条 4195 番地
事業区分	（１）地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,391,217 円（うち支援金：1,804,000 円）

事 業 内 容

筑北村では、慢性的な住まい不足や移住体験施設の未整備が課題となっていたことから、田舎暮らし体験の機会創出と都市からの移住促進を目的とした「筑北村移住サポート住宅」の整備とあわせて、筑北村での暮らしをプレ体験できるイベントを実施した。

＜筑北村の一日を体験するイベント「筑北の週末」＞
・農業体験と DIY ワークショップを織り交ぜたイベントを実施
・令和 6 年 5 月から 11 月の間に全 6 回開催、延べ 41 名が参加

＜筑北村移住サポート住宅＞
・令和 7 年 2 月上旬完成、4 月より共用開始
・3 月はプレオープン期間として 2 組利用受入

事 業 効 果

①参加者同士でのイベント提案や、ワークショップで実施した内容を応用し、実践している様子が見られ、住民意識の向上につながった。②ワークショップ参加者による移住サポート住宅の利用や、今後のイベントへの参加意欲が感じられ、筑北村とのつながり構築につながった。③④令和 7 年 4 月の移住サポート住宅の供用開始以降は、移住相談件数の増加を図る。同時に、空き物件利活用のモデルケースとして周知し、空き家バンク登録件数の増加を図る。

【令和 6 年度目標値】112 件／38 件／16 件／14 件
【令和 6 年度実績値】118 件／33 件／16 件／14 件
（移住相談件数／空き家バンク相談件数／登録件数／成約件数）
※令和 6 年度実績値：令和 7 年 3 月 21 日時点

今後の取り組み

本事業において実施した“筑北村ならでは”の体験イベントを継続的に行い、「筑北の週末」で構築された関係性を維持しながら、移住サポート住宅の利用者など、新たな人たちとの関係性の構築を図る。

また、今後は筑北村に数多くある「農地付き空き家」の利活用方法を探り、荒廃農地の活用とあわせて空き家問題の解決を進める。「農ある暮らし」をベースにした移住希望者のあらゆるニーズやライフスタイルに応える住まいの選択肢の充実と地域全体の活性化を図っていく。

【 ワークショップの様子 】

【目標・ねらい】

①移住者が地域に円滑に溶け込めるようにサポート
②移住にとらわれない関係人口の増加
③移住相談件数の増加
④空き家バンク登録物件数の増加

※自己評価【　A　】

【理由】
複数回に渡ってイベントを実施したことによってリピーターの獲得につながり、回を重ねるごとに参加者同士が積極的かつ自発的に交流している様子が見られた。事業終了後もその関係性が継続されており、地域コミュニティの強化につながったといえる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある